



市庁舎問題、駅舎バリアフリー化・国保税引き下げ

8.30湖北集會に160人。飛び入りで平尾市長がトーク



戦争法案絶対廃案
アピール風景

8.30湖北集會での トーク



議員名	質問内容	予定日時
清水 隆徳	1、上多良漁業協同組合と米原市及び多良自治会との関係、梁問題について 2、庁舎問題について	8日 9:30
太田 幸代	1、市内駅舎のバリアフリー化促進を 2、河南中学校通学路の安全確保を	9日 15:00
藤田 正雄	1、国民健康保険税の引き下げ実現について 2、国保税の減免および一部負担金減免の運用改善について 3、マイナンバー制度の危険性に対する市の対応について	9日 16:00

共産党議員団の9月議会で の一般質問

9月3日より9月定例会での一般質問が、9月1日に締め切られました。14人が発言通告を行い、抽選を行いました。初日8日に7人、9日に7人が一般質問を行います。日本共産党米原市議団は8日のトップに清水議員、9日の6人目に太田議員、最後に藤田議員が質問に立ちます。ぜひ傍聴、また伊吹山テレビでの視聴をお願いします。

「平和は素手でつかみとるも の」「」の人ウソをついている」 湖北集會でのリレートーク

国会前10万人、全国100万人に連帯する湖北集會は長浜市の、「臨湖」に160人が参加しました。全国行動に呼応して2時、3時半にシュプレヒコールをして「止めよう戦争法案」の決意を固め合いました。

リレートークに立った児童文学者の今関信子さんは、「今日一日、平和の取り組みで走り回ります。」と瀬田、長浜、守山の集會に参加することを紹介。「平和は素手でつかみとるもの」と強調し「この憲法は多くの犠牲の上に獲得した。」「憲法の精神を生かしてこそ自由であることが保障される。」と訴えました。

公務をおして飛び入り参加した平尾米原市長は、「地方自治こそが住民の命と安全を守る砦」、国の一権力者にゆだねることはできないと訴えました。また70年談話にかかわって、1人の中学生がニュースを見て、「この人はウソをついている」と言い切ったことを紹介。「為政者のまやかしを国民は見抜いている。民意は強い。皆さんの思いが国を変えていく。」と激励しました。

大谷派9条の会の對月滋照さんは、「民主主義を貫くことは大変なこと」、私たちは今その矢面に立たされているとしたうえで、国民の力で新安保法制を葬り去らうと呼びかけました。また、武藤議員は憲法を攻撃している人物。国会議員として不適格であることは明白。辞職に追い込む運動を、と力説しました。

集會参加者は、「本当に危ない状況。なんとしても廃案にしたい。」と口々に語っていました。

雑感 先月号で、議会日程が違っていました。10日の庁舎特別委員会が9時30分ではなく13時30分の間違いです。訂正します。しっかり読んでいただいで有難うございます。